

# 交叉点24

明高24回生通信

20<sup>th</sup>/Mar. / 2018

No. 16

「My Story 卒業～定年」

3年10組 大西和彦

浅間山荘事件や東大安田講堂事件をピークに全学連、全共闘などの学生運動が少し落ち着いた昭和48年 第1次オイルショックによって社会経済状況は大きく変わった。いわゆるバブリーな社会から緊縮型の社会に世の中が大きく転換し始めたのである。また、さきほどの学生運動の終焉そんな中で学生生活を終え就職することになったのである。就職状況も大きく様変わりしてしまい、我々の先輩の時代は「青田刈り」という言葉があったように3年生の最初の頃に企業からオファーがあり夏には企業主催のパーティーなどに出席していたようである。今の学生が3年生から就職活動を開始する状況のまったく逆バージョンで企業が学生の獲得運動をする時代であった。当然ながら、有名大手企業に難なく売り手市場の中で就職ができていた時代であった。そんな先輩諸氏を見ながら元来楽観的な私はずばらエネルギーを別の方に費やしておりました。

とにかく卒業さえすれば何とかなるだろうとギリギリのような生活に明け暮れておりました世の中の動きをあまり気にしていませんでしたが卒業時に大慌てするハメになりました。

昭和52年に卒業するわけですが、時に就職状況は一変し、もはや売り手市場ではありませんでした。求人表を見ていると今まで聞いたことがないような企業名も見かけられるようになり、かつてはどうしようもない奴は先生か電電公社(現NTT)に行けと言われていた状況から公務員枠が成績の優秀な人がいくようになっておりました。

私は担当の先生から「お前は先生と公務員には絶対になるなよ」といわれておりましたが、結果的に公務員になってしまいました。理由は簡単で、行きたかった民間企業に行けなかったからです。と言いますのも、唯一、先生に褒めていただいた事柄

の影響が大きくかかわっておりまして、何かといいますと実は入学時に学生時代にしたい事を聞かれたときに「俺は卒業するまでに嫁を探す」とみんなの前で宣言したようである。先生はそのことをよく覚えていて、4年卒業時に「宣言どおりやなあ」とお褒めにあずかったのであります。しかし、就職難の時代に子連れで雇ってくれる会社は少なく、面接時に履歴書を見ながら嫌味を言われることもありました。ただ、ありがたいのは、官公庁で、そういった民間では不利なことはお構いなしです。また、就職試験も非常にのどかな時代で、以前にもお話をしましたが当時は確か試験中にタバコが吸えたと記憶しております。面接にしてもおおらかで私はギリギリ生活のおかげで追試と重なってしまい。当時の人事課長に電話をして追試があるので面接に行けないというと、「何時やったら来れるんや?」と言われ、「5時ごろやったらいける」というと、「それでいいからとりあえず来てください」と言われ、4時間遅れでの面接をしていただきました。面接では「追試はどうやった?」という話から始まり、おかげでかきこまった話をしなくて、世間話など、気楽な会話ができたと記憶しています。最後に、「ほな、後、戸締りしといてな」というとさっさと帰ってしまい、一人、ブラインドを閉めドアを閉めて帰ったと記憶しております。おかげで今日の私があります。

そんなこんなで、昭和52年、王選手のホームラン世界記録756本達成の年、宴会芸ではピンクレディーの振り付けが最盛期の時期の、4月に環境部大久保清掃工場に配属されました。考えてみると、20数名ほぼ全員が新人という恐ろしい配置をよくしたと思う。当然、夜勤は修学旅行状態でありました。

第一印象は、「こんなんでも給料もらっていいのかな」と思ったのを覚えております。といいますが、当時は夜間勤務があり、監視業務が主であった

ので、作業はほとんどしないので、夜中中、時間つぶしに皆でゲームをしたり雑誌を読んだりの三昧の日々でしたから、学生時代と違い宿題はないわ、試験はないわ、給料はくれるわという状況にある意味戸惑いすら感じました。

印象的だったのは、下着泥棒逮捕事件、ママシ酒、鯉こく、オオネズミなどである。しかし、だんだんと遊ぶネタもなくなり仕事面での刺激もなくなり飽いてきた頃に建築部に行くことになりました。時に昭和 57 年、巷では漫才ブームで「もみじまんじゅう」のギャグが各局から聞こえていた時期であった。また、ファミコンなるものが登場し、大人も子供も夢中になってゲームをしていた時代です。マニアックな人にとっては特に夜勤者にはいいアイテムになったんじゃないかと思います。

以降 18 年間、建築部でお世話になることになりましたが、ありがたいことに世の中はまさに建設ラッシュの時代に入り、明石市においても市の施設のほとんどをこの時期に作った、そんな時期に建築部に在籍し、ほぼ、すべての建設に係ることが出来、貴重ないい経験をさせていただきました。列挙すると、大久保市民センター、勤労福祉会館、貴崎団地、保健センター、総合福祉センター、母子寮、市民病院、文化博物館、交通庁舎、など名前を挙げるときりがなくらいです。

また、当時は今と違って、業者や、設計事務所ともしっかりと和気藹々と接していた。コンプライアンスという言葉はまだ知らなかったけれど、節度を保った（つもり）中で、一緒に遊んだり、飲みに行ったりとおおらかな時代で、施工図を市職員が書いたり、一緒に他市のコンペに作品を出したり技術的にも教え、教えられの日常であり、お互いに向上に向けてけっこう努力していたと思う。業界全体も割と仲間意識を持っていて、和気藹々とした空気がながれていたような気がします。

職場においても一つには、比較的若い世代が集まっていた事と、上司がおおらかだった事で楽しい雰囲気であったと思います。今から考えるとマンガのような出来事も多々ありました。おでん、釣り、BBQ、花見、等々

現場監理においては今もそうであるが、お札を売りに来る、職人を売りに来る、嫌がらせをする、

時には夜中に呼び出される、下水切り替え工事などその手の人たちにはずいぶん勉強をさせてもらいました。今では不当要求と称して訴えることが可能になりましたが、当時は自分で何とかしていた時代でした。

建設ラッシュの時代で、設計がおっつかないことから、ずいぶん乱暴なこともやってきました。

市民病院では 12 月に建築の図面ができ、たしか、1 月末に設備を仕上げるという信じられないような工程でもできてしまったのを思い出します。当然、現場は大変で、例えば、設備図面にある PS が建築図ではなく、しかも、わかったのはコンクリート打ちの最中で、「ちょっと待って、ここに PS を配筋してくれ」、てな具合で、収めるのに担当者は相当苦労したと思います。また、無責任かもしれないが、とにかく維持管理より設計書が先で、「これは更新時に困るぞ、いいや、そのころにはいい機械ができてやるやろ」などいいながら作ったこともあり、今、設備の維持管理をしている人には大変だと思います。そんな「とにかく作れ」の時代でした。

文化博物館などは、「作ってから何を展示するか考えろ」 てな具合でした。

今は、ほとんど行っていないようですが、秋ごろになると恒例の旅行のシーズンが始まります。土曜日ともなると玄関前にマイクロバスが並んだものでした。

当時、営繕課の旅行ではいくたびに何か事件が起きておりました。私が幹事の時は特に多かったような気がします。北陸事件、沖縄事件、屏風ヶ浦荘事件など挙げるにいとまがありません。

役所のなかで、OA 機器が導入され始めた時期もこのころです。ちなみに関数電卓は昭和 49 年にカシオの 1 号機が発売されました。当時は一週間で値段が変わるくらい激変の時期でした。私の購入きっかけは計算尺では試験に対応できない事を痛感したのが動機で、購入後 1 週間で、半値の関数電卓が出て悔しい思いをしたのを覚えております。

役所では、ワープロが最初であったと思いますが、富士通のブラウン管式のドットプリンターでしたが、隣の住宅課で新しく買った電気式の印字機に感動していたのもつかの間、ほとんど使うことなく破棄されたのがもったいなかったです。

コピーはもちろんまだ、ジアゾ式でした。いわゆる湿式で、非常にくさかった。時間がたつと薄れていってしまうので、会検時は窓に張り付けたりしてカムフラージュしていたのを思い出します。やがて 8 インチのディスクを搭載したオフコンが導入され、エポカルクやエポエースの研修が頻繁に実施されたが、肝心の機械が少なく普段使いができなかった。業務用には当時、代価や単価をエポカルクで作成しており、春先になるとワイワイ言いながら作っていたことを覚えている。やがて、小型のパソコンの登場とロータス 1 2 3 なるソフトが登場し、積算業務がいよいよ自動化の時代に移行していくことになるのである。積算業務におけるロータスの時代は windows パソコンの登場とともにエクセルに移行していった。設計の世界では dos システムの後半に cad が登場したが、価格が高く実用となつたのは、廉価普及版の jw cad がでてから一気に普及したと思う。設備設計にとっては cad が出たおかげでそれまでの、裏書なる作業から解放されたのであった。解説本を見ながら消防団くらの設計から導入をしていったと記憶している。

当時、建築職は、まずは小規模な修繕改修を経験し、一人立ちの第一歩は消防団の新築だつたと思う。そして一人前と認められると市民センターや〇〇センター、会館という物件をあてがわれる。委託費が付くのはかなりの物件からで、ほとんどは自分で計算から積算までを行う。当然、図面を引くという表現があつたように、設計はドラフターを使った手書きが主流であつた。当時、残業は恥だという風潮があり、家にドラフターを並べ、決済前日など夜中に図面を書いておりました。期限があるというのは嫌な反面、マイルストーンとして重要でもあると思う。特に私のような怠け者は期限がなければどうしても先送りになってしまうから。

決済日が決められ、その日に向けて設計作業を収束していくのであるが、議会案件など、後ろの日程が固まっている物件などは、図面は後でも先に金入り内訳を作れなどという本末転倒なこともやっていた。

昭和 60 年の夏に日航ジャンボ機が御巢鷹山に墜落した。史上最悪の事故である。当時、墜落の直前に御巢鷹山の横を車で通過していたので、印象に

残っている。テニスブームで私も仲間と軽井沢の近所に合宿に行った帰り御巢鷹山の横を抜けて帰ってきました。その直後の事故でした。

中曽根総理の時期で、総理の公用車が通るということで、交通規制がかかっていたことが印象に残っている。

軽井沢というと聞こえがいいが、貧乏公務員の旅行なので、外れもはずれ北軽井沢で、中心地までは車で、30 分以上走らないといけないような田園地帯の真ん中のロッジでした。いまほどコンビニが発達していない時期で、道端の売店で豆腐のパックを買って缶ビールを飲んで、腹を満たしておりました。今となつては懐かしい時期であつたと思います。エネルギーな時期でもあり、仕事を終わってから夜を徹して東京方面や九州などへ抵抗なく行けた時期でもありました。あくる日の夜まで、十二分に旅行を堪能できた時期でした。

ウナギが食べたいと言つては浜名湖へ行き、「あいなめ」が食べたいと言つては淡路へと、もちろん仕事が終わってからである。距離に関しての抵抗感の無い人間が多かつたと記憶している。

言い換えるとそれだけ若かつたのかもしれない。今では考えられないくらいに、役所全体がエネルギーであり、個性的な人間が個性的に過ごしていた時期でした。当然、役所生活を一番謳歌出来た時代であつたといえる。

昨今の公務員に対する世間の厳しい目線の中では、職場で楽しく過ごすことなどあまり考えられないかもしれませんが。昔は…という年寄りの決まり文句ではあります。まさにそんな時代でした。

昭和天皇の崩御により平成へと年号が変わりました。バブルの崩壊とともに、公共における建設ラッシュも終わり、時代は維持管理の時代などといわれるようになりました。そのような中、平成 7 年 1 月 17 日 阪神淡路大震災に遭遇することになりました。この地震はそれまでの価値観を一変させるぐらい貴重な体験をさせてくれました。

人それぞれ力を発揮する状況というのがあるようで、普段麻雀と飲み屋の話しかしてないおっさんが、てきぱきと頼もしく指示を出す一方で、エリート族と称されていた職員は、逆に奥にすっこんで判断や指示をしてくれないということがあつた。

自分たちで、何をすべきか考え、必要な行動を手探りで実施していたというのが、発生から割と長い間続いたように思う。

当時痛感したのが、マニュアルの必要性であった。昨今のようにリスク管理について、周知されていないこともあり、なにせ上からの指示がこないものだから困った。当時、「お前は市長の顔をした防波堤や、市民からの苦情が上までこんようにせえ」といわれたことにうまい事言うなあとやたら感心したものである。建築部は大変だろうと皆が思っていた頃、実は、設備職は暇であったのだ。なぜなら、工事現場は全部止まっているし、設計どころではないし、建築職は被災判定でいないし、日々、読書が出来た状況であった。そんな時に上司から、お前、仮設住宅を作れと言われ、棒切れ一本もって、公園の地面に線を引いて、ここからここまで10軒、てな調子で763軒を作った時に、こんなんやったら、図面なんかいらんなあと感じたことでした。

地震の後、天文科学館を始め、各施設の復旧業務を、終え、一段落した時期に、下水道施設課に異動ということになりました

下水の方に異動ということになったものの、施設の運転でもなく、庶務でもなく、非常に漠然とした業務で、もんもんとした気持ちで日々送っていた時期もありましたが、裏返せばなんにでも関わっていたフリーな日々でありました。

さて、そんなフリーな日々を過ごしていましたが、だんだんと、退屈になってき出したので、仕事以外に活路を見出そうと日々、悶々としながら、立ち寄った書店にて目についたのが資格コーナーであった。そこで、ひらめいたのが、せっかく時間に余裕があるのだから、「学校にでも行こう」ということで、大阪のTACという資格専門学校に一年間、毎週土日を中心に通学することになり、若い人に混じって再び学生時代を経験することになった。みな熱心で、私自身、変に燃えてきて、成績優秀者で、張り出されるのに快感を覚え深夜一時二時まで勉強をしてしまいました。第2の青春時代だなどと気取っていましたが、家族にとってはえらい迷惑な時期であったかもしれません。何しろ、時間もさることながら、授業料や交通費やらで、費用も掛かったと思います。

今にして思えば、いい投資であったと思っています。おかげで、簿記、システムアドミニストレーター、中小企業診断士などの知識を身に着けることが出来、世の中がよく見えるようになりました。特に、経済や財務の勉強を通じて、世界情勢や経済に関しての国の政策や各国の動向などが見えるようになった気がします。

何よりありがたかったのは、業務上での決断が自信を持って出来るようになったことです。というのも、経営的な論理から、答えが見えるので、迷うことがないからです。また、他の人の決めたことの欠陥も見えるようになったように思います。そんなこんなで、いい勉強をさせてもらいました。

その時期に、職員提案でネット上でのショッピングモールが評価され、賞金5万円と昇格を手にしたのも勉強のたまものと思います。それをきっかけに、その後は順調に昇格を重ねることが出来ました。水道部に異動したときにも、下水道時代の勉強が大いに役立つことになりました。簿記などは、甘く見ていましたが、非常に奥の深い学問です。50歳を過ぎてから明商で簿記3級の試験を生徒に混じって受験したこともなかなか楽しい思い出です。てなことで水道を最後に無事、定年を迎えることが出来ました。定年後、あるきっかけから、シニア企業をすることになったのですがその後の話はまたの機会にしましょう。

### 「とりとめもありませんが」

10組 藤田嘉治

以下、独断と偏見あるいは過去のバックナンバーとの重複あれば、お許しを。

2012年暮れ、大蔵海岸に立ち、明石海峡と淡路島を見ながら、「無事、明石に戻ってきた。これからは、明石で生活ができる！」と思ったのですが、今また、愛知の知多半島に戻りました。1997年、縁あって知多半島に引っ越し、小学生だった3人の子供たちは思い思いの進路を歩み、ひとりが兵庫、二人はここ知多半島に住んでいます。再度の知多半島への引っ越し、これも宿命かな、と思っています。

## ● 知多半島

「知多半島」、西は伊勢湾、東は三河湾に挟まれています。大抵のご家庭にはあると思う「ミツカンポン酢」の本社は「半田市」にあります。1982年の知多半島への出張(当時は神戸の会社に勤務していました)までは、渥美半島は知っていても、ここは知りませんでした。冬は鈴鹿おろしが吹き抜け、体感温度が低く感じ、私は冬眠状態です。それでも、2月頃からは菜の花が国道沿いに咲き、道行く観光客を楽しませてくれているようです。「知多半島・花半島」などの看板(写真)も見られます。半島をドライブしてみると、「淡路島」にいるような錯覚に陥ります。私の住んでいるのは「武豊町」で、工業の町。外資系の会社に勤めていました。1960年代半ばに神戸からこちらに引っ越してきたとのこと。1997年の入社当時、神戸や明石出身の先輩もおられました。

この小さなエリアからも何人かの著名な人が出ているということを知りました。経団連会長の榊原さん。「榊原」という苗字は知多半島に多いのですが、「美浜町」のご出身とか。その他、ソニー創設者のひとり、今は亡き盛田昭夫さんは「常滑市」のご出身。10数年前に伊勢湾・常滑沖に「中部国際空港(セントレア)」もでき、航空機の離着陸や海を見ながら、海岸を散策できるようになりました。また、半島の最先端は「南知多町」。淡路島の福良同様、漁業と観光の町です。半島先端の「師崎」からは大気清澄であれば、富士山がみられるそうです。



## ● 高校時代

思い出というか、反省になってしまいますが、「もっと楽しめばよかった」ということ。大学生活が終るまで変わらなかった「昼夜の逆転生活」、高校時

代が始まりでした。最近、また昼夜逆転の生活が始まりましたが、若いころのようには続きません。

1) 英語・・・その後の会社員生活でも大いに役に立ちました。この基礎は高校時代にできたと今でも感謝しています。2年生の担任をしていただいた「楞野先生」、欠席、遅刻で何回も叱っていただいたと思います。“動詞+前置詞”を印象的に教えていただき、楽しい授業の「東道先生」、*“グラマーは理論”*的に教えていただいた「高田先生」。本当にお世話になりました。この先生方に出会っていなければ、USA、北アフリカなど一短期でしたが一の出張や外資系での勤務はなかった、と思います。

2) 物理・・・習う前、難しいと聞いていたのですが「押原先生」には物理現象の例示、身振り手振りでわかりやすく教えていただきました。授業中の余談でお聞きしたガス器具会社の“ノーリツ”、大きくなりました。設立者太田敏郎さんの自叙伝は先生のお話を思い出し何度か読みました。

3) 化学・・・一時、有機化学が面白く、この関係の進路も考えたことがありました。化学反応を印象的に教えていただいた「中村先生」。先生には2年間担任いただき、卒業後もお世話になりました。「中村先生、今も囲碁を楽しんでおられますか」

4) 地学・・・「吉川先生」から出された夏休みの宿題“鉄の化石を見つけてください”(?)だったか。何も考えず、近くの林崎海岸の地層を探しに行ったような。今でも、宇宙、天体などは興味があります。

5) 美術・・・苦手でした。出席は足りず、成績も不良で落第しないか、本気で心配したことがありました。その他の芸術科目、音楽も書道もいまだにだめです。沖縄音楽が好きで、三線を購入しましたが、今はタンスの上で眠っています。楽器を弾ける方は尊敬してしまいます。今考えれば、芸術はいずれも日々の生活を心豊かに楽しむためのものですね。

6) 数学、生物、歴史、国語、倫理、地理・・・思い出は尽きませんが、授業以外の方が記憶に残っています。

## ③LED

「蛍光灯に代わり、近年中にこのLEDが照明器



具の主演になります」この言葉は、40年ほど前の照明工学の教官で、卒研でもお世話になった先生からお聞きし、妙に印象に残っていました。卒業してまもなく、三ノ宮の「星電パーツ」で赤色LEDを購入し、その明るさを実験してみました。ぼんやりの明るさ、「到底照明には不十分。実用化にはまだまだ時間がかかりそう」ということで、その後すっかり忘れていました。

2014年秋、ノーベル物理学賞の発表があり、赤崎勇先生がお二方とともに受賞されました。

愛知県にも住んでいましたので、地元の名誉教授のお名前は知っていました。その後、明石で「青い光に魅せられて～青色LED開発物語」という赤崎先生の本を読む時間がありました。そこには「兄」の名前があり、まさに「LEDが照明器具の主演となる」ことを予言された先生のお名前です。同じ「赤崎」ですが、お顔も似ておられず、ご兄弟とはこの本を読むまで知りませんでした。冒頭の言葉、兄が弟の研究にエールを送っていたのだ、とこの本で理解しました。また赤崎勇先生の最初の就職先が「神戸工業の明石大久保製作所」だったとのこと。今の「富士通・大久保」でしょうか。私がお世話になった「兄」先生の予言のように、「近年中に」LED照明は一般化しませんでした。40年経った今まさに主演となってきたと感じています。

この本では戦争の悲惨さも述べておられます。私たちの子や孫の世代のためにも「平和」を願わないわけにはいきませんでした。

最近、体の各部品に経年劣化がみられます。45年前の高校時代のことは思い出しても、「昨日の昼食に何を食べたか」は忘れていきます。体の部分的な不自由は「長年勤めた設備屋の職業病」ですが、少しでも健康寿命を延ばすべく努力を心がけている毎日です。

最後になりましたが、お世話になった先生方と同窓生のご健康とご多幸を祈念し、締めとさせていただきます。

**「身長が5センチ縮みました」**

**馬場 滋夫**

2011年3月11日の震災と原発事故は日本に大きな傷と反省のきっかけをもたらしましたが、その3か月後のスキー登山中の滑落事故は、私の背骨を二個砕き、結果として身長を5センチ削ることになりました。幸いにも、奇跡的に後遺症も無くこうして原稿を書ける状態で今日に至っています。

#### 雪山登山計画

15年余り患っていた心臓疾患も治療で完治し、定年もあと数年となり、職場の後輩にスキー登山のすばらしさを体験させたいと思い、2011.4.29から5.01までの二泊三日で乗鞍岳山頂まで登りスキーで滑降り、翌日は白馬乗鞍岳から滑降りするという計画に12人で出かけました。天気予報は最高の晴れ、しかし乗鞍岳の山頂には天候急変をもたらす傘雲がかかり、雪を踏みしめ3時間ほど登る頃には猛烈な雪で視界が効かず、強風で背中に担いだスキーやスノーボードが煽られ、体も冷える危険な状態になり、ほうほうの体で引き返しました。6人が別の計画で離れ、残る6人で白馬の民宿に移動し、明日はきっと素晴らしい滑走ができると期待しつつ眠りにつきました。

#### 天候の急変で判断ミス

予報は快晴なのに、柵池スキー場のリフトとロープウェイを乗り継ぐ頃にはミゾレ状態でした。一面雪野原の柵池自然園を抜け、急な登りを二時間、少し早い昼食をとる頃には大粒のアラレと共に雷まで鳴り響き、すぐ横の雲が光り、髪の毛が帯電する気配がして、今日も撤退（下山）することに。でも今シーズン最後の滑降りになるので少しでも長く滑りたいと思い、行ってはいけないと教えられていた沢のコースに入り込み、林の中で立ち往生してしまいました。先頭を歩いていた私が足を滑らせ、あっという間に雪面を滑り急流の沢に落ち、3mほどの滝から落下したのですが、滝つぼで浮かんでいるところまで記憶がありません。滝つぼで背中に担いだスキーが岩に掛り、浮上できなくて焦ったり、浮上した後も背中のザックが浮袋になり、顔が水中から上げられなくて焦ったりした記憶の断片だけが微かにあります。

#### 72時間後の救出

出血は無かったものの、歩ける状態ではなかったので、3人が救助を呼びに行き、私は斜面の木の根元の雪の窪みに身体を横たえ、若い二人の仲間に左右から濡れた体を温めてもらい救助を待つことになりました。それでも寒くて歯の根が合わず、若い二人もあまりの寒さに1時間ごとに左右の位置を入れ替わって寒さをしのいで朝を迎えました。山林の中で所在が分からず山岳救助隊に発見してもらったのは27時間後でした。強風の中、無理して飛んでくれた救助ヘリに吊り上げてもらい、長野県の大町市民病院に搬送されました。

#### 救急病院で

中度の低体温症になっており、若い仲間が居なければ死んでいたと思います。ゆっくり体を温め、血液検査を受けた結果「重要な骨に損傷があると思われる、絶対安静が必要」と告げられ10日間、上を向いたままピクリとも動けず過ごしました。「遭難した」と連絡を受けても所在が分かるまで自宅待機した連れ合いは、翌日病院に到着し付き添ってくれました。いつ全身まひが起きるか分からない状態で、下の世話も若い素敵な看護師さんにしていただきながら10日が過ぎました。浜松での手術まで寝たままなので食事はとれず、点滴のみの生活ですが、うんこは出るので。おしっこも尿道に管を通してあるので、トイレに行くことも手術が済むまでありませんでした。

#### 浜松聖隷病院へ移動

背骨の手術が可能で、家族もいる浜松の病院に移ることになり、寝台タクシーで移動し検査も受けた結果、第3および第5胸椎の破裂骨折、その他肋骨多数骨折ということでした。脊髄が傷ついたり、折れた肋骨が肺を破ったりしていない事は本当に幸いでした。

#### 手術

手術は、壊れた二個の背骨を取り除き、周辺の背骨のとがった所を数か所削り粉にしたものを練ってドーナツ状にし、除去した背骨の位置に植え付け、上下の背骨をチタンのボルトナットで梯子状につないで固定するというものでした。遭難中も入院中も激痛の元はあちこち折れた肋骨で、背骨周辺の痛み

は全く感じませんでした。肋骨は体の一部を動かすだけで激痛を発するので、ピクリとも動けません。おかげで不用意に動いて脊髄が傷ついたり圧迫されたりすることを防止できることになりました。全く何が幸いするか判りませんね。

#### リハビリ開始

遭難から一か月の安静で筋肉が弱り、歩くこともベッドから起き上がり腰掛けることもできなくなりました。腹筋と背筋が弱った私には起き上がりの許可から数日はベッドに5分ほど腰掛けることさえ重労働で汗だくになる始末でした。幼児用の歩行器を使ってトイレに行けるようになった時も、足の裏がけいれんを起こす情けなさでした。そんな中、病院のリハビリプログラムが始まり、理学療養士による手足の運動が始まりました。初めはベッドで、次には手すりを伝い、手術後一周間には「階段を10段」登れるようになりました。このころには肋骨の痛みは和らぎ、手足の捻挫の痛みを自覚するようになりました。人はその時点で一番痛い箇所だけを痛いと感じるようです。

#### 退院

手術から三週間で退院し一日に二回、自宅周辺を歩くトレーニングを開始しました。正しい姿勢で椅子に座る必要があるというので、退院後すぐに椅子を購入し、テレビの前で女子ワールドカップサッカーを観戦する日々でした。最初は50歩、徐々に歩数を増やし、決勝トーナメントの頃には裏山の農道を登れるまでになりました。

手術後から4か月ほど、背骨と肋骨を保護するため、ベッドから起きている間は、オーダーした剣道の胴のようなコルセットを装着しました。これは職場ではターミネーターみたいだと評判になりました。

#### 復職

事故から3か月で復職、勤務開始から一か月余りは、勤務時間中に2時から一時間ほどベッドに横になり休憩をいただく特例を設けて頂きました。当面の仕事はリスクマネジメントとして放射能線量計を本社や営職員に備えるなど放射能事故に掛る影響チェックと社内ルール作りでした。国内の情報はあてにな

らず、ネット検索で海外の情報を集めました。いち早く欧米の政府機関が東京から撤退したことや地球上の北半球の放射能汚染、更に最悪のシナリオまで危機一髪の危険が回避された事など、事態の深刻さを国内メディアが伝えない状態に、海外合弁企業からは「従業員の健康」の心配と「海外生産施設の整備」が強く求められ、これらの対応企画がリタイアまでの仕事になりました。

#### 怪我と治療の結果

大けがと手術は体力自慢の私を10歳近く老けさせました。首を少し前傾させた背骨の固定は強烈な首のコリのもとになり、慣れるのに二年ほどかかりました。5個の胸椎の固定で首の自由度が減少し、振り向くことが不自由になりました。何より座高が5cmも低くなり、その分縦長のおへそが横長になり、内臓が行き場所を失いお腹が前にせり出すという見た目の変化がありました(笑)。また、手術の際に背中中の神経を切断したので、背中中の感覚が空の弁当箱越しに触られている感じになりました。そして、本格登山の再開は連れ合いから禁止され、リタイアして西宮に転居した私の遊び場は、もっぱら六甲山限定になっています。

#### 数々の感謝

迷惑をかけた若い仲間、捜索隊、医師や看護師、会社のトップや同僚にはお詫びと感謝でいっぱいです。つらいリハビリを一日も欠かさずにできたのは周囲のサポートのおかげです。長々と書き連ねましたが、思い返し反省する良い機会を与えていただきましたこと、編集の労を取られている中村君に感謝いたします。

E-Mail:bab@mbr.nifty.com

#### 2016年同窓会出欠はがきのメッセージです(後半)組

3 “河内裕子(石井)” 長年、インテリアやファッションに興味があり、物は増える一方でしたが、そろそろ断捨離はムリですが、整理を心がけなければと思っています。時々友人と元町や三宮でランチやおしゃべりを楽しんでいます。

ご盛会をお祈り申し上げます。お返事が大変遅くなり申し訳ありませんでした。

3 “藤井正子(藤本)” すみません。こんなに遅くなりまして。親の介護や片付け等々でうっかりしておりました。お電話いただき恐縮しております。出席できませんが私自身は元気です。皆様によろしくお伝えください。

3 “岸本比佐子(黒田)” 主人と二人、それに愛犬マカロンとの静かな生活。でも過剰なコレステロールを気にする毎日。健康年齢を延ばすよう本を読んだり、まだまだがんばります。

3 柴田慶一 淡路島で農業を楽しんでいます。将来は淡路たまねぎに挑戦します。

3 梶原憲一 お世話様です。中学校の教員退職後再任用で引き続き教壇に立っております。

3 林田行二 4年前にアルバイトで始めた夜勤の施設警備(兵庫県立大学)2回の巡回で1日10km歩きます。一日一日の積み重ねでもうすぐ1万km達成です。しかしながら年齢的なものか?歩きすぎなのか?最近坐骨神経痛に悩まされています。

3 橘 由紀子 皆様にお目にかかれなくて残念ですが、おかげさまで元気に趣味をいろいろ楽しんでおります。

3 “裙本晶子(大西)” 地味で静かな毎日です。元気に楽しく暮らしております。皆様のますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

3 野田昌宏 まだ現役で働いています。当日は仕事のためします。幹事ご苦労様です。同窓会が盛会になることを祈念しております。

3 “植村洋子(赤土)” 法事の日と重なったのでさせていただきます。子ども二人も独立したので不要なものを片付けては悦に入っているこのごろです。

3 “大津万里子(一井)” 少し働いて、たくさん遊んでいます。(長野の山小屋へ行く予定なのでいたします)ありがとうございます。

3 “大和満理子(西)” ご盛会をお祈りいたします。

3 藤原美津子 好きなことをして毎日過ごしています。退職時には、これから時間がたっぷりできると思いましたが、一日がアツという間です。



- 3 “宮崎智子（窪田）” 幹事のみなさま、いつもありがとうございます。定年退職時、同じ職場で短時間勤務（実質週4日）をしています。
- 3 三浦康男 昨年6月、62歳で退職しました。4月30日は予定がありできません。よろしくをお願いします。
- 3 “立田敦子（佐野）” いつも連絡ありがとうございます。月末はあいにく土曜日は仕事が入っていますので勝手させていただきます。働き始めて1年半になりました。
- 3 “木村喜代美（齊藤）” 退職してからスケジュール帳がびっしりで。健康に感謝しています。
- 3 坂口喜啓 長らく勤めた（30年以上）明石（明石校舎）の地から、東の御影にある神戸大学付属中等教育学校（6年一貫校）に移りました。東の空気に触れながら元気にやっています。盛会を祈っています。
- 3 “澤田まゆみ（苗村）” 相変わらず忙しく過ごしています。以前より海外に行くことが多くなりました。なかなかGWをゆっくりと日本で過ごせません。出席できずに残念ですが、機会を見つけていつか皆さんにお会いしたいと思います。
- 3 原田晋一 まだ事業会社と監査法人で仕事を続けておりやめる時期は未定です。今月4月30日も決算日程上仕事をしています。4年後は仕事を減らして出席したいと思っています。家庭では三男がもうしばらく在学の予定で、それが終わるまでは完全引退しないほうが良いのかもしれないかもしれません。
- 3 “初田仁美（澤田）” 子どもたちも自立し、夫婦二人の生活です。家庭菜園や卓球、パッチワークと毎日元気で過ごしています。
- 4 “松尾衛子（三木）” 早いもので、還暦同窓会から、3年経ちました。私は、今年の3月で、再任用を2年して教職を去りました。新しいスタート地点に立った新鮮な気持ちを大切に、日々をすごしていきたいと思います。
- 4 高月孝之 現在、明石市立美里厚生館長として3年目に入りました。地域の福祉と人権の拠点としてがんばっています。妻一人と義母の3人暮らし。子ども二人、孫四人（孫はほんとうにかわいいですね）楽しく生きながらえています。
- 4 “藤井恵子（三好）” 公立幼稚園を定年退職し、一年間再任用園長として働いていましたが、昨年4月より完全退職後、孫たちとの生活や主人や母との旅行を楽しんでいます。
- 4 “吉田久子（吉村）” 幹事様、ご苦労様です。お会いできるのを楽しみにしています。
- 4 “藤井由美子（林谷）” 孫守りに、また、店の手伝いと、毎日元気よくがんばっています。健康に毎日過ごせることをとても喜んでいきます。
- 4 “土井奈保（伊藤）” お世話になります。ありがとうございます。また、返信遅くなりまして申し訳ありません。おかげさまで夫婦二人で静かな年金生活です。シンプルライフを心がけております。
- 4 細田和宏 ご無沙汰しております。高齢の両親代わって農業に従事して2年目を迎えています。毎日が失敗と発見の連続です。4月から同居する孫のために健康に留意して日々精進する今日この頃です。
- 4 長谷川久美子 予期せぬ母との別れ、自分のからだの不具合、本当に年齢を感じるが多くなりました。元気で同期の皆様にお会いできたらと思っています。
- 4 森野隆行 そろそろ引退しようと思います。
- 4 “高岡加代子（藤見）” お返事大変遅くなり申し訳ありません。前回の同窓会は大変楽しく過ごさせていただきました。残念ながら今回はさせていただきます。
- 4 岡田十一 歳 相応に元気にしています。
- 4 “松田美鶴（岡田）” 同窓会の案内をいただきありがとうございます。私自身はおかげさまで健康に過ごしておりますが、親の介護で出席することができません。皆様、楽しい同窓会になりますようお願いしています。
- 4 “安田京子（橘）” 幹事の皆様方ご苦労様です。申し訳ありませんがさせていただきます。
- 4 服部秀樹 まだ東京で働いております。スケ

- ジュールが合わず申し訳ないですがします。次回に期待しております。
- 4 皆越 勉 定年再雇用後の再就職で分譲マンション管理員4ヶ月目です。40年ぶりに就活を経験し、初めてハローワーク通いをしましたが、1ヶ月間のプー太郎生活は結構楽しいものでした。皆様によろしく。幹事、ご苦労様です。
- 4 “松谷真貴子（後藤）” いつしか年を重ね脂肪も重ねてミルフィーユ。ただ今孫可愛さと面白さにハマっています。前回の同窓会では、皆さん素敵な60歳！感激しました。今回はパスですが、ヨレヨレ・ヨボヨボになる3歩手前くらいには絶対に出席したいと思います。
- 4 “田中章子（鹿間）” あいにく予定がはいってしまいました。市民運動なるものを十一年続けて今、壁にぶち当たっています。穏やかな老後はいつのことやら。皆様楽しいひと時をお過ごしください。ご盛會を念じております。
- 4 木内須美子 今月は主人の3回忌があり、遅れてすみません。
- 4 “杉江浩江（森本）” 4月からは今の職場で再雇用として働きます。新職種も覚えなけりやならないので緊張しています。プライベートでは孫の顔を見るのが楽しいです。なかなか会えないので。
- 4 小鷹靖雄 明石公園の隣でメダカ・金魚・カブトムシ・猫等生き物に囲まれ住んでいます。もらっていただける方、連絡ください。
- 5 “山本昌子（平松）” 実家が消えてなくなっちゃったけど、HOTELに泊まれて嬉しいな。
- 5 濱口義信 残念ながら定年が65歳なのでまだ少し働かなければなりません。老体に鞭打って京都に通っています。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。
- 5 “公森博子（佐藤）” 定年後2年目となり、自分のペースで絵を描いたりして過ごしています。動けるうちにいろいろなものを見たいと思っています。ご案内ありがとうございます。—
- 5 “岡崎信子（栗西）” 27年度からの保育園から認定こども園に移行した園で勤務を続けています。通勤電車は読書タイム、駅から園までをウォーキングと思って有効活用しています。幹事の皆様ありがとうございます。
- 5 “柘植恵美子（西岡）” お世話になります。お返事遅くなり、申し訳ございません。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
- 5 “高橋朋子（藤原）” 男の子ばかりの孫3人の成長を楽しんでいます。たまにゴルフやランチでストレス発散しています。
- 5 “片岡康夫（野村）” 幹事様、お世話になります。よろしくお願い申し上げます。
- 5 “小西省子（梶原）” 悔しいことや悲しいことや寂しいこともあるけれどマイペースで楽しくやっています。
- 5 “井上恵美子（高橋）” いつの間にか還暦も越え、人生も後半。いろいろ楽しいことをしながら、食事、旅行楽しんでおります。
- 5 “宮之原千賀子（荒尾）” ご案内いただいておりますが、妻、千賀子は昨年3月に心筋梗塞で急逝しました。（宮之原守和）
- 5 吉川英之 娘の出産でオメロカに滞在しています。英語が上手になりたいです。
- 5 “立花恵子（伊藤）” 記憶力の低下と物忘れを気にしつつ、元気に過ごしています。
- 5 “中島久代（橘）” 我が家から徒歩3分圏内に住んでいる子ども、孫と楽しく元気に暮らしています。時々温泉旅行に出かけたり、趣味のフラワーアレンジメント、ヨガでリフレッシュしたりしています。
- 5 “藤橋佳子（矢田）” 皆様お変わりありませんか！最近、絵本の世界に魅了され、気に入った本を何度も読むのが楽しみです。当分図書館通いは続きそうです。
- 5 樋口敏子 10年ほど前に早期退職して弁護士をしています。最近では〇〇状態。筋トレに励んでいます。
- 5 林 康子 出席できず残念です。次の機会には出席させていただきます。公文式学習教室の指導者としての日々を過ごしております。孫二人（4歳1歳）は男の子で（我が子は娘二人）男女の違いに戸惑いながらも日々元気をもらい楽しませてもらってます。主人と二人の老後が楽しみ？な今日この頃です。
- 5 “山西靖子（谷日出子）” 母の介護をしな

- がら、好きなお稽古をし、高2の時のクラスメートだったKさんとたまに会って旧交をあたためております。ご盛会をお祈りいたします。
- 5 “米田光子(井上)” 夫婦と認知症気味の老犬と一緒に穏やかに過ごしております。
- 5 “吉本宏美(藤田)” 5年前に早期退職してから音楽レクレーションの出張をしたり生協の活動をしたり忙しくしております。
- 5 坂本喜陽子 いつもお世話になります。返信遅くなり申し訳ありません。このたびは所用で出席できません。皆様の方がご健勝をお祈り申し上げます。
- 5 “城 晶子(石田)” 幹事様、お世話になります。連休中は娘が孫を連れて遊びに来るため、させていただきます。長男には(今年)小3 小1の女の子、長女には(今年)5歳の男の子。孫3人のおばあちゃんです。
- 6 多田淳一 一年前から、ギター弾き語りのレッスンを受けています。ゴルフ、クォーターテニス、仕事を楽しんでます。
- 6 “多田優子(相野)” 幹事さんご苦労様です。当日を楽しみにしています。還暦で第2詩集が出せて幸せでした。最近孫娘にゴルフレッスンに付き合ってもらって喜んでます。
- 6 “中川けい子(秋定)” 幹事の皆様、お世話になりありがとうございます。断捨離、ときめきなどのキーワードで整理整頓を始めていましたが、ある日 ゆるりまい著「わたしのウチにはなんにもない」の本に出会い、衝撃を受けました。必要なものだけの暮らしに憧れ、片付けているところです。同窓会楽しみにしています。
- 6 “正木小百合(海妻)” 子どもや孫たちに使われるのはありがたい(?)と思いながら日々過ごしております。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。
- 6 “土島清子(菊池)” 退職して2年目。老化防止のため、週4日小学校に勤務し、5・6年生とにぎやかに過ごしております。
- 6 “唐木美喜子(岸)” 38年間の養護教諭生活を無事終わり、今は訪問看護師をしています。未知の世界にやっと慣れたところです。まだまだ技術は赤ちゃんなみです。仕事のため出席出来ません。4年後は何をしているか自分でも楽しみます。
- 6 西山 宏 当日は、所用が重なり残念ですが今回はさせていただきます。
- 6 “津田順子(長谷川)” 三人の子どもも自立し、定年退職した主人が家を守り(?)まだささやかに事務員として働いています。パソコンなどだんだんついていくのがしんどいですね。皆様にどうぞよろしくお伝えください。
- 6 “細川素子(是常)” うっかり期日を過ぎ申し訳ありません。若くから続けてきました既製のパタンナーの仕事を、今は自宅で細々と続けています。仕事をいただける間は続けたいと思っていますが、今は、ほかの楽しみも見つけないと思っています。
- 6 尾西康彦 幹事、ご苦労様です。相変わらず儲からないコンビニを経営し、楽しく元気に暮らしています。
- 6 “岩坂芳子(上山)” 元気にしています。所用のためですが、ご盛会をお祈りしています。
- 6 “魚永典子(中山)” 幹事の方々お世話になります。いつか出席させていただきたいと思っています。
- 6 “榎本真知子(畑)” 孫の守をしながら何とか元気に過ごしております。日々毎日運動運動と意識しながら(笑)
- 6 “谷垣裕子(前川)” アルバイト、習い事、ボランティアとマイペースで暮らしてきましたが、夫が定年後5年間続けたアルバイトを3月で契約終了となるので、また新しい生活が展開するのではないかと考えています。
- 6 田村 茂 幹事様申し分けございません。4月29日~5月1日旅行を予定しています。皆様によろしくお伝えください。
- 6 “安岡祥子(清松)” ガタがきた身体をサプリや筋トレで少しでも良い状態で維持すべくがんばっています。親をサポートしつつ孫と遊んだり、趣味に、友達とのランチ等、自分時間を持てるようになりました。夫婦仲良く、ウォーキングや旅行等楽しんでます。ご盛会をお祈りしています。
- 6 “金月貴美代(竹田)” 当日は、仕事で

- 失礼します。おかげさまで元気にやっています。
- 6 “中塚妙子（松井）” 同窓会の案内をありがとうございます。まだ、現役で働いています。週末は母の介護がありますのでします。
- 6 “片岡美津子（野中）” 92歳85歳84歳の3人の親の病院付き添い、見守りなどの日々です。先約の為今回は出席出来ませんが次回皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
- 6 片岡明善 ゴルフ、仕事と楽しんでます。
- 6 近石 弘 現在、隠居中です。晴れた日には西明石～明石の海辺を歩いております。暖かくなれば釣りでもしようと考えております。
- 6 小林正人 62歳になり、初孫もでき、やっと自分も爺さんと呼ばれるようになったことにうれしいような、悲しいようです。
- 6 勝 修一 定年後も県警に残り、若い警察官の指導・育成に当たっています。
- 7 澤田正幸 幹事様大変ご苦労様です。還暦同窓会から早や三年が経ち、孫も二人できました。亡妻の代わりに孫を可愛がっています。同窓会当日を楽しみにしております。
- 7 “太田良子（畠田）” 新しい仕事（マンションのコンシェルジュ）に変わって半年。ようやく少し慣れてきたところです。
- 7 “吉田蘭子（小林）” 幹事の皆様お世話になります。今回は体調を整えて必ず出席させていただきます。初孫が1歳9ヶ月になりラインの動画や写真を楽しみにする境地（年？）になりました！！週2日のピアノレッスン（小さい子ばかり）ですよ～）ちょっとした私の習い事、友人や家族とのお食事会等を楽しむ日々です。体力がないので長期旅行できないのが残念です。
- 7 藤原千秋 60歳で定年退職後、アルバイト生活も4月で終わり、これからのたっぷりの時間、いろんなことにチャレンジしていきたいと思えます。
- 7 川瀬俊之 生まれた家（京都）に戻ってポチポチ暮らしております。たった2年間しかいなかった明石。甲斐のにドキドキしております。
- 7 “小林美智留（桃尾）” この年齢になって、毎日フルタイムで仕事をして、休みの日には、スポーツ、遊びにと忙しい毎日を送っています。
- 7 “中桐妙香（清水）” ご連絡ありがとうございます。できず申し訳ありません。母の通院や買い物などに付き添う日々を送っております。
- 7 新里時子 いつもありがとうございます。今回も出席出来ませんがそのうち出席できるときがくると思います。
- 7 “有井明美（小倉）” 元気にしています。
- 7 “林 昌子（中西）” 神戸市須磨区に住んで31年になりました。息子のママ友とコーラスをしたり、家にある楽器を持ち寄って、バンドを組んで老人施設を訪問したり。素人の拙い演奏ですが、いつも笑顔で喜んでくださりこちらが元気をいただいています。
- 7 “松浦光代（岡本）” 先約があり残念ながらさせていただきます。幹事様お世話いただきましてありがとうございます。ご盛會を祈ります。
- 7 “大曲寿美子（速水）” ご案内ありがとうございます。GWに遠方より家族が集う貴重な機会ですので、残念ながらいたします。ここ数年間に夫、義父、母と立て続けに見送り（夫婦ともに一人っ子だったので）精神的にも肉体的にも少々ハードな時期を過ごしておりますが、次回東京オリンピックのころには元気を取り戻していきたいです。皆様にどうぞよろしくお伝えください。
- 7 “山本道子（井上）” 幼児教室をひらいて、小さな子どもたちと楽しく遊んでいます。趣味として卓球をしています。何とか元気に過ごしています。
- 7 “柿崎喜巳子（松森）” 3人の息子たち

- も結婚し孫も小学生と幼稚園児2人います。主人と2人だったのが今では10人になりました。昨年の春ウィーンに1週間滞在し優雅で夢のような日々を過ごしました。
- 8 西 光雄 3年前よりコナミスポーツに通い始め約15kg体重が減りました。囑託になった今、月水金3日出勤しながら、毎日大久保、明石、新長田、ジェームス山、梅田、東加古川などで水泳をしたり、スタジオでボディジャムというコナミオリジナルダンスを踊ってストレス発散と健康維持に努めています。
- 8 大北輝彦 お世話になります。本年4月1日から「サンデー毎日」の生活をしています。
- 8 松尾和彦 一応まだ働いています。
- 8 “岩佐洋子(永田)” 家族の予定がなかなか決まらず、締め切りより大幅に遅れてしまいました。ご迷惑をおかけします。改めまして今回は大変お世話になります。ありがとうございます。なにとぞよろしくお願いいたします。
- 8 須井真理 世話になり、ありがとうございます。北陸新幹線のおかげで、最近は石川県も全国放送で報じられるようになりました。まだまだ自然がいっぱいで 子どものころの明石が思い出されます。冬になると南のほうへ行きたくなりますね。
- 8 石原 勉 リタイヤしました。のんびり暮らしています。
- 8 土谷博茂 私は去年狭心症にて入院 ステントを入れて助かっています。
- 8 濱本忠之 60歳の定年を過ぎても、まだまだ現役で働いています。ただし後進の指導と引継ぎをしながらですが。週に4回ほど健康マラソンとして、朝のジョギングをしています。健康であれば仕事もこのまま続けていこうと思っています。
- 8 濱谷 透 この年になっても生活は特に変化はなく、すごしております。ただ地域活動(自治会など)でけっこう忙しいのと孫が次々増えていくのが、変化といえばそうなのかと思う。
- 8 板東正彦 大阪の公立高校で数学を約35年教えてきましたが、定年退職後は年金をいただきながらの療養生活を送っています。(二人の子はまだ仕事についていません。)皆様もくれぐれも健康にはご注意ください。
- 8 “山口敦子(奥田)” お返事、遅くなり申し訳ございません。ぎりぎりまで調整しましたが、出席できそうにありません。残念!!元気にしております。みなさまによりしくお伝えください。
- 8 “角谷邦子(谷)” 神戸市シルバーカレッジに通い趣味の音楽を楽しんでいます。
- 8 立花茂樹 6年前に早期退職し、現在は自治会、農会の役員の仕事や片手間の農業で生活しております。昨年9月に初孫(女)ができております。余暇にはゴルフをしております。
- 8 “三宅涼子(水口)” 4月からとうとう無職になります。このごろようやく勉強したくなりました。
- 8 森岡 進 マラソン、テニス、釣と趣味を楽しんで生活しています。
- 8 “匠 恵子(森口)” すみません。返信がすっかり遅くなりました。昨夏初孫誕生(男)久々に赤ちゃんに接して「生命力」のすごさを感じています。まだ仕事もしているので毎日があっという間。体力、知力のおとろえは日々実感。
- 8 山田雅史 お世話になりありがとうございます。上記に転宅しておりますので、次回から新住所にお願い申し上げます。皆様によりしくお伝えください。
- 8 “山下共子(山越)” 残念ながら旅行の人重なるのでさせていただきます。
- 8 福岡洋典 今回の幹事は3校長様ですよ。お世話ありがとうございます。身体が二つほしいとこれほど思ったことはありません。地域おこしイベントを主催しておりできません。皆様によりしく。毎朝登校時誘ってくれてありがとうございます。
- 8 庄司文人 再雇用3年目です。65歳まで働くつもりです。元気です。
- 8 小池孝良 H28年で退職ですが再任で+2年です。故郷が遠くなりました。懐かしい皆様へよろしくお伝えください。
- 9 中村 守 大久保で外科医院を開業しています。子ども二人、まだ結婚しません。

- 9 立花義司 湘南高校で再任用教諭として働いています。定年退職後、そちらに戻れないでいます。
- 9 伊與田賀弘 自分の健康管理を気にするころとなりました。日々の生活リズムや人とのふれあいが大切だと実感しています。今回の同窓会でのふれあいを楽しみにしています。
- 9 山口浩一郎 体は健康でありがたいのですが、頭は自信がなくなってきました。時々孫と犬の名前をまちがってしかられます。
- 9 山本幸司 再任用で2年目が終わろうとしています。当日は3年目に突入しているかどうか？（毎年更新です）少し余裕ができて趣味の蝶採集・写真を始めました。六甲山全山縦走も8年連続完走。今年も挑戦するつもりです。
- 9 勝川周春 定年後も嘱託として勤務しております。大阪寝屋川にて区画整理事業を施工しており、生涯土木技術者として竹中に勤務生活にて終わりそうです。プライベートもゴルフ一筋にて遊びまわっています。
- 9 池野健治 当日は仕事のためさせていただきます。金属加工の会社に再就職し、商品の開発と若手の育成をやっています。休日は、旅行に犬の散歩、絵画に陶芸とまだまだ忙しいです。
- 9 橘 忠彦 お返事が遅くなり申し訳ありません。3月末に実家の近くに戻る予定です。
- 9 前田正英 盛会を心よりお祈り申し上げます。
- 9 富士谷 敦 父（93歳）の介護に明け暮れています。
- 9 “二木英二（漣）” まだ現役です。
- 10 三木隆司 お返事が遅くなり申し訳ありません。同窓会、二次会どちらも出席でお願いします。
- 10 河合昭彦 娘たちに言われLineを始めました。便利なサービスが増え、同期会も考えねば、ですね。
- 10 加賀谷弘美 京都山科にて、絵を描いたり、ギターを弾いたり、自分の大好きなことをして、合間に仕事をしています。元気です。
- 10 浅田起代蔵 前回（2013年）は体調がおもわしくできなかつたので、今回して皆様にお会いできるのを楽しみにしています。
- 10 古田永夫 大学の図書館で、金融関係の資料を渉猟しています。
- 10 山西淳司 同級生がリタイヤした話を耳にすることが増えましたが自営の私はその見通しが立ちません。元気でやっています。
- 10 吉岡哲也 直前まででしたが足を骨折したため。昨春、5年単身赴任していた青森県弘前市から奈良に戻りました。
- 10 上根大輔 県立加古川西高等学校で定年退職後引き続き同校で再任用フルタイム勤務しています。ワンダーフォーゲル部顧問をされており、約30名の部員と登山をしています。昨夏は3泊4日の日程で立山に行きました。
- 10 箕浦忠行 回答が遅れ申し訳ございません。東京単身生活も今年で8年目となりました。当面は東京にて働くことになろうと思います。週末は荒川でサイクリングを楽しんでいます。
- 10 尾鼻宏之 お世話様です。元気ですが、残念ながら出席できません。よろしく願いいたします。
- 10 卯月準二 幹事の方ご苦労様です。残念ですがすることができません。皆様によりきよくお伝えください。36年ぶりに明石に帰り尿簿と二人で暮らしています。
- 10 添田宏二 長男・三男が結婚して三男に双子が生まれました。二卵性で男の子と女の子。1歳半になり、いいや！本当に可愛いものです。じじバカです。
- 10 近藤良之 開催日が小生の次男の結婚式と重なってしまいましたので残念ですがさせていただきます。
- 10 長谷堅弘 まだ現役を続けています。
- 10 二階堂正隆 山口市で夫婦で暮らしています。
- 10 西海 誠 幹事ご苦労様です。現在、年金＋アルバイト＋テニス生活中です。後、小さな社会貢献（地域の）をしております。
- 10 大西和彦 27年4月に市役所を辞めてひよんなことから、会社をおこしました。ポチポチやっております。
- 10 池田 亮 再雇用の道をとらず、地域の自治会活動に力を入れて、毎日忙しくしております。



仕事の特に得られなかったかけひき無しの間  
関係に楽しんでおります。

- 10 井上貞夫 変わりなくやっています。仕事は  
まだ続けています。ゴルフを61歳からはじめて、  
100きり目指して日々努力です。
- 10 藤原成弘 一昨年退職。第二の人生を千葉で  
楽しんでます。
- 10 下山祐司 足・腰のしびれ、視力の衰え、薄  
くなってきた毛髪等よる年波に体力の弱体化を  
感じながらも、まだ青年のような気を吐いてい  
る日々です。同窓会が盛会となりますように！

## 事務局より連絡

### 住所不明者についてお願い

住所が不明となっている方々の情報提供をお願  
い致します。心当たりの方がおられましたら、下記  
連絡先までご連絡くださると助かります。

1組 岸本一朗 坂本隆彦 村瀬繁樹 八木義孝  
泉谷恵子 松尾洋子 2組 安藤悦郎 竹村郁子  
長谷香代子 3組 北田雅福 高橋英樹 高見訓司  
土島日出彦 増子 隆 藤永みどり 秋定和子  
平野由美子 鈴木佳子 4組 奥野好隆 田村政一  
仲井 透 内田志津子 大泉尚子 山口哉子 5組  
大村直樹 佐藤市朗 橋本成弘 長谷川俊広 山本  
和彦 魚住篤子 坂本嘉代子 中川ゆかり 平山登  
志子 松末純子(6組?) 6組 馬場滋夫 西馬慎  
三 加藤明江 米谷嘉子 7組 足立真知子 近藤  
恵子 坂本京子 佐藤美智子 富岡るみ 森江真岐  
子 盛井雅子 8組 諸岡宗司 山崎清孝 庄司真  
弓 田中英子 9組 魚住一裕 魚谷雅弘 加藤和  
宏 三浪晴生 安井 潤 10組 木下孝一 黒田  
幸雄 西森正二 久山哲広 安尾弘文 山崎栄造

2017年3月現在(敬称略)

\*名簿の管理は、手作業で行っております。ミスは  
ご連絡ください。

《連絡先》 事務局 河合昭彦

〒674-0051 明石市大久保町大窪 1000-1

Tel 090-8659-5628 Fax 078-934-1667

メール [kawai@dokikai.net](mailto:kawai@dokikai.net)

注) 河合に連絡いただいた住所はサラトに連絡しま  
すが、サラトに連絡された住所は河合には届きませ  
ん。

### ・24回生のSNSのご案内

明高24回生のSNSを立ち上げております。

<http://sns.prtls.jp/meiko24/home.html>

このURLを開いていただき、「新規登録」をクリッ  
クいただくと「ユーザ登録」画面が出ます。こちら  
で登録いただきますとご参加いただけます。

### ・メールアドレスをお知らせください

携帯、PCを問いません。

頂戴したメールアドレスは、同期会の連絡用に使  
います。下記のアドレスにメールを送っていただ  
ければ登録します。

携帯の機種変更、転退職、転居等でメールアドレス  
を変更された方もよろしくお願ひいたします。

[m24@dokikai.net](mailto:m24@dokikai.net)



\*QRコードです。携帯で  
のご連絡にご利用下さい。  
(機種によっては使えませ  
ん)

\*携帯・スマホをご利用の方  
[meiko24@dokikai.net](mailto:meiko24@dokikai.net) から  
のメールを受信可能にして頂けると同期会のメルマ  
ガが受信できます。

### 編集後記

皆様、原稿は常に募集中です。

引越された、転勤された、お孫様の話題等々、  
なんでも結構です。

通常の段取りとしては、毎年、11月一杯を目途  
に集めた原稿を中村(守)がデザイン、大西(和)  
と私で印刷、2月の理事会でサラトさんに渡します。

11月中くらいまでに、メールもしくは郵送にて原  
稿をいただければ掲載できます。